

可児市立桜ヶ丘小学校 5年生学年通信 チャレンジ&スマイル

No. 11
令和8年1月30日
2月号

6年生に向かって

新年が明け、およそ1か月が過ぎました。いよいよ5年生として過ごす時間も残りわずかとなり、子どもたちは『自分たちが次は6年生になる』という思いを少しずつ強くしながら学校生活を送っています。この2月は、これまで積み重ねてきた経験を、6年生へつながる自信に変えていく大切な時期です。日々の生活や活動の中で、『自分にできることは何か』『仲間のためにできることは何か』を考えながら行動する姿が多く見られるようになってきました。

先日、1年生が新しい教室に引っ越しをしました。5年生の子達に手伝いを頼むと『やったあ!』『余裕だよ!』と頼もしく嬉しい反応が返ってきました。面倒くさい、嫌だというような発言は一切聞かれませんでした。『自分より小さな子達を手助けするのは当然だ、むしろ自分たちの力を発揮できる場ができる嬉しい!』という前向きな気持ちがあふれています。

実際、1年生の先生からお願いされた以上に、『これも運んだ方がいいよね!』『運ぶ物はもうないから今までの教室を掃除しよう!』など、次々と自分たちで考えて行動する姿がたくさん見られました。1年生の子達に『ありがとう!』とお礼を言われると、照れくさそうにしながらもとても嬉しそうでした。誰かの役に立てたという自己有用感をさらに伸ばし、自信をもって6年生に向かっていって欲しいと思っています。

6年生を送る会～笑顔の輪・みんなで感謝を伝え合おう～

現在、子どもたちは「6年生を送る会」に向けて、主体的に企画・運営に取り組んでいます。5年生は、在校生と卒業生をつなぐ大切な立場として、一人一人が自分の係の役割に責任をもって向き合っています。

企画運営係では、『6年生にどんな気持ちで卒業してもらいたいか』『会全体が温かい雰囲気になるにはどうしたらよいか』を話し合いながら、進行や流れを考えています。自分たちの思いだけでなく、相手を思いやる気持ちが表れています。PR係は、他の学年の気持ちを盛り上げるために、6年生に関わるクイズを考えたり、放送を通して6年生の良さや思い出を紹介したりする計画を立てています。『このクイズなら6年生も喜んでくれそう』『このエピソードはみんなに知ってほしい』など、楽しさと感謝の気持ちを伝えようと工夫する姿が見られます。道具係は、当日の会場が温かい雰囲気になるよう、心を込めて飾りづくりをしようと計画を進めています。色や配置を相談しながら、『6年生が入ってきたときに明るい気持ちになってほしい』と話し合い、一つ一つ丁寧に準備をしています。

このように、子どもたちはそれぞれの立場で考え、声をかけ合いながら、一つの会をつくり上げようとしています。仲間と協力し、誰かのために行動する経験は、大きな自信となり、6年生へつながる力になっていきます。残りの学校生活も、一日一日を大切にしながら、子どもたちの成長を支えていきます。今後とも、ご家庭での温かなご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



2月の主な行事

- 6日(金) 授業参観日(2時間目)
- 13日(金) 朝読書:ストーリーテリング
- 17日(火) 委員会
- 18日(水) 交通少年団結団式(6時間目)
- 24日(火) 委員会